

## 公募による選定の得点状況

## ◆ 「都市部の公園・東部」グループ

## 1 指定管理者候補者の名称

アメニス東部地区グループ

## 2 評価項目、配点及び得点状況

(単位:点)

評価項目	配点	各団体の得点状況	
		候補者	2位
管理運営能力を有すること	30	25	26
公園の魅力やサービスの向上が図られること	70	38	34
効率的な管理運営	30	24	25
合計	130	87	85

## 3 主な選定理由(議事要旨)

- 産官学民の協働によって「パークコミュニティ」を構築し、試行・実践の上で新たな取組を展開するなど、公園を取り巻く環境の変化に柔軟に対応し、新たなニーズを汲み取る管理運営方針が具体的に示されており、適切である。
- 都民協働の活動について、イベント企画等のサポート等を通じて利用者ニーズを汲み取り、新たなサービスの導入を検討する具体的取組を提案しており、評価できる。
- 利用者からの意見や要望などの情報を集積し、年次や月次での傾向・変化を可視化することで園内情報の共有化を図り、対応力を向上させる提案がなされており、評価できる。

## ◆ 「都市部の公園・南部」グループ

## 1 指定管理者候補者の名称

公益財団法人 東京都公園協会

## 2 評価項目、配点及び得点状況

(単位:点)

評価項目	配点	得点状況
		候補者
管理運営能力を有すること	30	26
公園の魅力やサービスの向上が図られること	70	38
効率的な管理運営	30	25
合計	130	89

## 3 主な選定理由(議事要旨)

- ソーシャルアプリ等を活用して、より幅広く利用者ニーズを収集する手法は、SNSによるコミュニケーションが一般化した昨今、有効な取組であり評価できる。
- ゴミ拾いSNSを活用した「ゴミ拾いムーブメント」の仕掛けなど、新しい都民協働のスタイルを具体的に提案するとともに、エアーマネジメントなど地域コミュニティとの連携についても積極的な提案がなされており、評価できる。
- トイレやベンチなどの施設や植物の管理に利用者のアイデアを取り入れる「グリーンセッションプロジェクト」は、利用者ニーズの把握や公園への愛着の増進、公園のより一層の活用につながると期待される。

◆ 「都市部の公園・北部」グループ

- 1 指定管理者候補者の名称  
公益財団法人 東京都公園協会

- 2 評価項目、配点及び得点状況 (単位:点)

評価項目	配点	各団体の得点状況	
		候補者	2位
管理運営能力を有すること	30	24	22
公園の魅力やサービスの向上が図られること	70	37	38
効率的な管理運営	30	25	23
合計	130	86	83

- 3 主な選定理由(議事要旨)

- ソーシャルアプリ等を活用して、より幅広く利用者ニーズを収集する手法は、SNSによるコミュニケーションが一般化した昨今、有効な取組であり評価できる。
- 希少種の保全活動を行う生態保全ボランティアなど、多様なコミュニティと連携することで、公園や地域の魅力向上を図る取組について、公園ごとに具体的に提案されており、評価できる。
- トイレやベンチなどの施設や植物の管理に利用者のアイデアを取り入れる「グリーンセッションプロジェクト」は、利用者ニーズの把握や公園への愛着の増進、公園のより一層の活用につながると期待される。

◆ 「武蔵野の公園」グループ

- 1 指定管理者候補者の名称  
武蔵野の公園パートナーズ

- 2 評価項目、配点及び得点状況 (単位:点)

評価項目	配点	各団体の得点状況	
		候補者	2位
管理運営能力を有すること	30	27	26
公園の魅力やサービスの向上が図られること	70	38	37
効率的な管理運営	30	25	25
合計	130	90	88

- 3 主な選定理由(議事要旨)

- スポーツコーディネーターやパークレンジャーなどの常駐の専門スタッフを配置し、利用者に対し質の高いサービスを提供する提案は、公園のポテンシャルを引き出し、魅力を向上させる取組として評価できる。
- 地域連携に関するイベントや企画等の提案にとどまらず、地域のニーズを汲み取り、実現に繋げるスキームや仕組みも含めた具体的な提案ができており、適切である。
- スマホを活用して施設等の不具合やその位置情報を共有・蓄積する「パークモニタリングシステム」は、施設の損傷等への迅速な対応を可能とするのみならず、効率的な施設改修や事故防止に寄与するものとして、評価できる。

◆ 「多摩部の公園」グループ

- 1 指定管理者候補者の名称  
多摩部の公園パートナーズ

- 2 評価項目、配点及び得点状況 (単位:点)

評価項目	配点	得点状況
		候補者
管理運営能力を有すること	30	26
公園の魅力やサービスの向上が図られること	70	36
効率的な管理運営	30	25
合計	130	87

- 3 主な選定理由(議事要旨)

- 産官学民等の多様な主体と協働しての企画立案や懇談会の開催によって、利用者ニーズの掘り起こし、課題の把握、改善のPDCAサイクルを推進する提案がされており、公園を取り巻く環境や利用者ニーズの変化への柔軟な対応につながるものとして、評価できる。
- ボランティアのニーズや課題に応じてスキルアップの機会を設けるなど、都民協働の活性化にむけた工夫が提案されており、都民協働の一層の充実が期待できる。
- スマホを活用して施設等の不具合やその位置情報を共有・蓄積する「パークモニタリングシステム」は、施設の損傷等への迅速な対応のみならず、事故防止や効率的な施設改修に寄与するものとして、評価できる。

◆ 「狭山丘陵」グループ

- 1 指定管理者候補者の名称  
狭山丘陵パートナーズ

- 2 評価項目、配点及び得点状況 (単位:点)

評価項目	配点	得点状況
		候補者
管理運営能力を有すること	30	26
公園の魅力やサービスの向上が図られること	70	39
効率的な管理運営	30	25
合計	130	90

- 3 主な選定理由(議事要旨)

- ランドスケープマネージャーやスポーツコーディネーター等の専門スタッフを配置し、利用者に対し質の高いサービスを提供する提案は、公園のポテンシャルを引き出し、魅力を向上させる取組として評価できる。
- 産官学民等の多様な主体と協働しての企画立案や懇談会の開催によって、利用者ニーズの掘り起こし、課題の把握、改善のPDCAサイクルを推進する提案がされており、公園を取り巻く環境や利用者ニーズの変化への柔軟な対応につながるものとして、評価できる。
- スマホを活用して施設等の不具合やその位置情報を共有・蓄積する「パークモニタリングシステム」は、施設の損傷等への迅速な対応のみならず、事故防止や効率的な施設改修に寄与するものとして、評価できる。

◆ 「多摩丘陵」グループ

- 1 指定管理者候補者の名称  
公益財団法人 東京都公園協会

- 2 評価項目、配点及び得点状況 (単位:点)

評価項目	配点	得点状況
		候補者
管理運営能力を有すること	30	25
公園の魅力やサービスの向上が図られること	70	37
効率的な管理運営	30	25
合計	130	87

- 3 主な選定理由(議事要旨)

- GIS等を活用して、動植物データのデジタルアーカイブスを構築し、一般公開することで園内の生物多様性情報に誰もがアクセスできる取組を提案しており、期待できる。
- 多摩丘陵の魅力をアピールする「つながる里山サミット2025」の開催など、従来の活動実績や成果を踏まえて、さらに発展させた取組を提案しており、評価できる。
- 地域に親しまれる景観である「里山パークビュー」や水辺環境、生物多様性の保全を意識した維持管理の提案は、丘陵地特性を踏まえた魅力ある風景や環境を継承する取組として評価できる。

◆ 夢の島公園・夢の島熱帯植物館及び夢の島公園アーチェリー場

- 1 指定管理者候補者の名称  
アメニス夢の島グループ

- 2 評価項目、配点及び得点状況 (単位:点)

評価項目	配点	得点状況
		候補者
管理運営能力を有すること	30	23
公園の魅力やサービスの向上が図られること	70	37
効率的な管理運営	30	23
アーチェリー場に関すること	10	5
合計	140	88

- 3 主な選定理由(議事要旨)

- AR技術を活用したガイドアプリの導入やコミュニケーションロボットの設置など、DXを活用した積極的な取組が提案されており、評価できる。
- ボランティアの育成や、地元観光協会、商工協同組合、企業などからなる夢の島協議会の立ち上げなど、地域連携の取組が積極的に提案されており、評価できる。
- 競技大会時の開場時間についての柔軟な施設運営など、利用者目線にたった提案が評価できるほか、アーチェリーやフライングディスク、パラアーチェリーなど、スポーツ・レクリエーションの普及・振興に関する多様な提案がなされている。

◆ 大神山公園

- 1 指定管理者候補者の名称  
公益財団法人東京都公園協会

- 2 評価項目、配点及び得点状況 (単位:点)

評価項目	配点	各団体の得点状況	
		候補者	2位
管理運営能力を有すること	150	127	98
公園及び自然公園施設の魅力やサービスの向上が図られること	350	243	204
効率的な管理運営	150	125	121
合計	650	495	423

※得点は大神山公園と小笠原ビジターセンターの総合点

- 3 主な選定理由(議事要旨)

- 長年の指定管理者としての実績を基に、来島者のみならず島民の利用も意識した出会いと交流の場づくりを目指した、安定感のある管理運営が期待できる。
- 小笠原の特性を踏まえた展示やガイドウォークの充実のほか、新たな提案として盛り込まれているグッズ販売は、島の自然や文化を広く知ってもらうためのガイドブック、思い出を持ち帰ることのできるオリジナルグッズ等により、利用者のニーズに応えるものとして期待できる。
- 生き物見本園として、固有植物の実物を公園内で展示するなど、来島者が身近に小笠原の自然に触れ、興味を持つための、質の高いサービスの提供が計画されている。
- 施設補修、植生管理及び適正利用について適切な計画が提示されているとともに、GISの活用を含む保守履歴のデジタル化など新たな取組について評価できる。